

学校再編（松林小学校と武蔵野小学校、羽村第二中学校と羽村第三中学校の統合）に関する保護者説明会における意見等と市の考え方

※説明会での質疑は内容を要約して掲載するとともに、説明会終了後にいただきましたアンケート等に対する市の考え方をまとめたものです。

なお、同主旨の内容については、集約化しています。

受け付けた意見	市の考え方	区分
一番の関心は、通学路に関してである。通学の距離が長い、不審者が多い、地震が多い、重い荷物を持つといった課題がある。親の見守り、登校時間、自転車通学、親の送迎等について検討をしているのか。	通学路に関しては、実際に歩いて、様々な視点で確認を行っています。現在、最適な方法等について検討中ですが、具体的には個別再配置構想（実行計画編）を策定していく中で、案をお示ししていきます。	通学・通学路
通学路で、保護者が見守ることは、難しい状況にあると思う。ボランティアも集まらないと思う。防犯カメラを設置していくことなど、市で何か考えはあるのか。	市では、スクールガードリーダーの設置を行っています。防犯カメラの設置に関しては、防犯対策として、市全体の安全・安心対策として実施していくものであるため、警察等とも協議しながら検討していきます。	通学・通学路
学校に行くまでが心配である。 現状では、松林小には、PTAがあるが、加入率は50%程度。 PTAの委員になる保護者を各学級7人から4人とした。これは、共働き世帯の増加等により、保護者負担を軽減するための措置であるが、統廃合までにPTAもなくなってしまう可能性がある。その場合の保護者に対するアンケートの実施方法を検討しておく必要があると思う。 子供110番を受けていただける世帯が減少、保護者も忙しい状況である。通学に関して心配している。 一つの案として、スクールバスも検討されているとのことだが、松林小は年度当初の4月の2週間程度、集団登校を実施しているが、集合場所には保護者は集まらない。現状で子供のみの状況である。スクールバスを進めていく場合には、停留所をどこにするのか課題がある。 防犯カメラの話もあったが、やはり大人の目が必要であると思う。そういった方の雇用も検討課題である。PTAが実施したアンケートでは、保護者自らが何かできるかといった点では難しいが、子供の安全のために、費用負担をしてもよいといった回答もあった。	現在、コミュニティ・スクールを地域の様々な方々の参画により行っており、今後、こうした関係者の皆様等から御意見を伺う中で、最適な安全対策を講じていきたいと考えています。	通学・通学路
通学における、歩道の整備、スクールゾーン拡充の検討状況はどうか。	危険箇所等をチェックしながら、スクールゾーンの設置についても検討していきます。	通学・通学路

受け付けた意見	市の考え方	区分
通学路の安全確保を最重要事項として考えてほしい。 安全が確保されてはじめて、子供も安心して学校に通うことができる。それが崩れると、学校の教育理念や教育の質よりも、命に関わる部分を最優先に考えてほしい。	児童・生徒の安全・安心を最優先に考えていきます。	通学・通学路
通学路の検証に関する説明の際、「最も遠い場所から歩いて30分間かかった」という話だった。 また、「他市では4kgのランドセルを背負っている」との説明があった。リーフレットの中に、約1.5km、徒歩で20～30分程度との記載がある。これは、誰が歩く想定をしたものなのか。	実際に歩いたのは、職員ですが、子供が歩くことを想定して行いました。市内の他の学区の状況等をみると、最長で30分程度となっています。ランドセル4kgの根拠については、先行して学校再編を実施している町田市の場合から、端末機、体操着、教科書などを持参することなどを想定しています。 また、子供の成長には個人差があるため、個別の状況等を鑑みながら検討していきます。	通学・通学路
通学路に関してだが、社会科見学など、子供が徒歩で行く場合があるはずなので、そのようなデータを参考にしたらよいと思う。 アンケートの実施について、例えば「今日のランドセルは何kgですか」といった質問もよいのではないか。	社会科見学のデータは、各学校でも捉えているので、参考にしていきたいと思います。 また、アンケートの内容についての意見については、今後の参考とさせていただきます。	通学・通学路
通学路に関して、町田市の事例での説明があった。 実際に統廃合を行っている自治体に話を伺ったことがあるのか。	これまで、八王子市の義務教育学校の視察を行っており、最終的に目指すものがどのような形がよいのか、研究しているところです。 統合についても、引き続き情報収集をしながら、検討を進めていきます。	通学・通学路
武蔵野小学校の登校時間は、8:05～8:10なので、松林小地区の児童だと距離が長いので、延ばしてほしい。	学校再編に関しては、個別再配置計画（実行計画編）の策定に向け、具体的な統合の内容を検討していきます。 その段階においては、学校関係者等の皆様の御意見をお聞きする場を設けていきます。	通学・通学路
通学の安全の確保が最優先事項と考える。 人命に関わる部分の不安を取り除かなければ、生徒と保護者も安心して学校生活を送ることができない。 教育の質や部活の問題は、通学の安全確保に比べれば、枝葉のような事だと考える。	通学時の安全対策については、令和8年度中に策定を予定している「個別再配置計画（実行計画編）」を検討する過程で、学校関係者等の皆様から御意見を伺い、課題を整理した上で、対応策を検討していきます。	通学・通学路
3年前に引っ越してきました。自宅から数分で小学校に行けて安心だと決めました。小学校への入学はこれからですが、統合したら通学に30分かかる。 少子化で仕方がないが、通学の安全は確実に確保してほしい。	通学時の安全対策については、令和8年度中に策定を予定している「個別再配置計画（実行計画編）」を検討する過程で、学校関係者等の皆様から御意見を伺い、課題を整理した上で、対応策を検討していきます。	通学・通学路

受け付けた意見	市の考え方	区分
・通学路の安全を確保するにあたり、地域住民の理解、説明はあるか。 ・交通量の多い通学路から通う子供もいると思います。 ・自転車通学の範囲なども気になります。	通学路の安全確保は重要なことと認識しています。 通学時の安全対策については、令和8年度中に策定を予定している「個別再配置計画（実行計画編）」を検討する過程で、学校関係者等の皆様から御意見を伺い、課題を整理した上で、対応策を検討していきます。	通学・通学路
子供たちは安心して登校できるか。	登校に対する不安は子供にも保護者にも当然生じるものであると考えています。 児童・生徒の成長と学校生活を第一に考え、その不安を共通理解とした上で、対策を検討していきます。	通学・通学路
・通学路について、夏は子供に1リットルの水筒、クロームブック、教材とランドセルで7～8kgを超える。計っているのに、これが現実である。小学生にとってはかなり苦痛である。小学4年生の子供は慣れたと話しているが、慣れていいものなのか。クロームブックを毎日持ち帰らなくてよい日は学校に置かしてもらいたい。 ・スクールバスはあった方がよいと思う。	通学における荷物問題は今回の統廃合に関係する学校だけではなく、市内の全ての小・中学校に共通する課題であると考えています。 熱中症対策なども含めて、教育委員会として市内の全ての小・中学校に対して対策をとっていくべき問題であり、この再配置構想の中で個別に対応するのではなく、全体として対策を進めていきます。	通学・通学路、 スクールバス
・通学距離に関する資料を作成してほしい。 ・他市等の学校統合に関する資料等は調べているのか。 ・スケジュールの詳細資料がほしい。	これまで、八王子市の義務教育学校の視察を行っており、最終的に目指すものがどのような形がよいのか、研究しているところです。 統合についても、引き続き情報収集をしながら、検討を進めていきます。 現時点で最適な方法等について検討中ですが、具体的には個別再配置構想（実行計画編）を策定していく中で、スケジュール等についてもお示ししていきます。	通学・通学路、 統廃合
学区を変更することによって、通学の距離が短くなるのであれば、それもいいと思う。	リーフレット「これからはむらの学校～学校再編の取組～」のQ&Aにもあるとおり、学区の変更は基本的に行わないことを前提としています。	学区の変更

受け付けた意見	市の考え方	区分
具体的な案の説明がなく、とても残念。 実施までの期間が短かすぎる。 具体案がないと討論できない。 先生が少ないと言われているが、他校との差が見えてこない。グラフや数字にしてほしい。 入学説明会での説明等している・していたのか。 学校側の意見はないのか。 以前、小学1年生の35人での学級崩壊があったと聞いているが、その点も踏まえ35人での学級編制をしたいと教育委員会は考えているのか。 昔の羽村第三中学校のように、学区の見直しをした方が再編していくと思う。	1クラス35人は、全国一律の国の示した基準に準拠したもので、羽村市独自で設定しているものではありません。 また、リーフレット「これからはむらの学校～学校再編の取組～」のQ&Aにもある通り、学区の変更は基本的に行わないことを前提としています。 具体的には、令和8年度中に「個別再配置構想(実行計画編)」を策定する過程で案をお示しし、説明する機会を設けていきます。	学区の変更
学区を柔軟に選択できるようにしてほしい。 ・新しく入学する小学1年生で、富士見小学校を選ぶことができるなど。 ・中学校入学時に、羽村第三中学校ではなく、統合する羽村第二中学校に入学できるように選択させてほしい。子供の意見を聞いて考えたい。	学校選択制度の御提案と受け止めています。 現時点で学校選択制を導入する考えはありませんが、学校統合は段階的实施など複数の案を検討中であり、教育の継続性、学級編制、施設整備の状況など総合的に判断して決定していく必要があります。 具体的には、令和8年度中に「個別再配置構想(実行計画編)」を策定する過程で案をお示しし、説明する機会を設けていきます。	学区外への通学
松林小学校、羽村第三中学校に通学している生徒は、統合後も卒業まで在籍させることは可能なのか。	児童・生徒数の現状及び今後の減少傾向を踏まえ、児童・生徒のより良い教育環境の整備と、教育の質の更なる向上を目指すため学校再編(統合)が必要であると考えています。 施設の維持管理、教員の配置、異年齢間の交流など、総合的に勘案して、卒業まで、現在在籍している学校に通うことは難しいと考えています。	学区外への通学
1クラス35人は多すぎるのではないか。 統合にあたっては、どうしても35人クラスにしないといけないことが疑問。 小規模学習を進めている中で時代に逆行していると思う。 小規模学習ならではのメリットもあると思う。	1クラス35人は、全国一律の国の示した基準に準拠したもので、羽村市独自で設定しているものではありません。 この基準に則って、教員の配置がされることとなります。 学校規模が適正に保たれることによって、少人数教育も充実していくと考えています。 小規模校と少人数学級は別のものであります。 複数の学級があることは、例えば、算数、数学、英語に習熟度別指導の教員、専科の音楽や体育の教員を配置できるといったメリットがあります。	少人数学級

受け付けた意見	市の考え方	区分
多様性については、2学級以上なくても、高め合うことができると思う。 羽村第三中学校を羽村第二中学校に統合するのであれば、小学校は武蔵野小学校を松林小学校に統合してはどうか。水泳指導をスイミングセンターでできるメリットなどもある。	松林小学校と武蔵野小学校の統合について、どちらの校舎を使用した場合でもメリット・デメリットがあります。 しかし、 ①校舎の建築年度が新しいこと。 ②統合後の学区において武蔵野小学校がより学区の中心に近いことなどの理由から、武蔵野小学校の校舎を使用した方がメリットが大きいと判断しています。	少人数学級、水泳授業
プールの授業について、統合に向け武蔵野小学校のプールを改修して実施していく考えか。 プールの授業は必要であると考えている。プールの改修予定を伺いたい。	松林小学校と武蔵野小学校は、スイミングセンターを利用した授業を実施しています。プール施設の老朽化の問題を契機として実施しましたが、プール授業の質の向上、専門的な指導等を受けられるといったメリットもあることから、統合後も同様に実施していこうと考えています。	水泳授業
授業で市のプールを利用するということは、昔あったような夏休み期間のプールがなくなり、プール授業の回数が減ることになる。授業回数を増やす予定はあるか。	水泳の授業は、教育課程の中で実施していくもので、今後も変わりなく実施していくものと考えています。 夏休み期間のプールの開催は市内小・中学校では実施していない状況です。	水泳授業
・参加者からプールに関しての話があった。市民プールを授業で利用することはよいと思う。学校設置の屋外プールで行っている栄小が、気温が高過ぎてできない、雨のためできないなどがあり、温水プールでできることは素晴らしい。市内全校で実施してほしい。中学は体育教師がいるので、このままでよい。	松林小学校と武蔵野小学校は、スイミングセンターを利用した授業を実施しています。 プール施設の老朽化の問題を契機として実施したが、プール授業の質の向上、専門的な指導等を受けられるといったメリットもあることから、統合後も同様に実施していこうと考えています。	水泳授業
プールの授業は必須ではない。 年2回をみの開催とする自治体もある。 東北地方では気候の条件で実施できないこともある。 冬でも温水プールに行くことができる羽村市は恵まれていると感じている。 学区について、なくしている自治体もある。 親の通勤経路、自宅前からバスが出ている、親族が近くに住んでいるなど、保護者は選択することができる。 羽村市でも統廃合を見据え、学区外の通学を認めるなどの取組を検討してほしい。	プールの授業に関しては、市内に多摩川が流れており、過去に痛ましい事故もあったことから、現時点で水泳の授業をなくすという考えはありません。 引き続き、水泳の授業ができるよう取り組んでいきます。 学区に関しては、学区をなくしている自治体の取組は把握しています。 現時点では学区をなくす考えはありませんが、貴重な御意見として今後の参考とさせていただきます。	水泳授業、通学・通学路、学区の変更

受け付けた意見	市の考え方	区分
中学校の統合に関して、羽村第二中学校と羽村第三中学校の制服が混在する状況は避ける必要がある。 可能であれば、新たな制服あるいは制服に準じるものに変更してほしい。 ・小学5年生が、中学に入学するまでに決定願いたい。 ・令和12年度より前に改善をお願いしたい。 ・令和9年入学から新しい時代に合ったものにしてほしい。 ・令和10年度には、制服をリニューアルするなど早急に決定してほしい。	学校再編に関しては、制服の件も含め、個別再配置計画（実行計画編）の策定に向け、具体的な統合の内容を検討していきます。 その段階においては、学校関係者等の皆様の御意見をお聞きする場を設けていきます。	制服
なくなった部活動については、統合後は生徒数も増えるので復活するのか。	生徒数の問題や、教員の働き方、生徒・保護者のニーズなど様々な要因により、全国的に部活動の存続は、かなり難しい現状にあります。 現在、市として、部活動を地域へ展開していくことを進めています。 放課後等の活動がきちんと行えるようにするための方策として、地域に展開していくことを段階的に進めています。	部活動
部活動に関する保護者向けアンケートの実施を考えているのか。	既に一部の団体については、部活の地域展開が進んでいます。 令和7年2月にリーフレットを配布、3月には地域保護者向け説明会を実施しました。同時にアンケート用にWEBページを開設して意見を伺っています。 新たなアンケートを実施する考えはありませんが、地域の皆様、教員、生徒の実態に応じた意見を伺いながら進めているところです。	部活動
特別支援学級の統合について、現時点で決まっていることを伺いたい。	再編に当たっては、特別支援学級の教育の質の維持と充実に努めています。 現在、特別支援学級が設置されていない学校も含め、市全体のバランスを考慮し、個別再配置計画（実行計画編）、個別再配置計画（配置編）を策定していく中で検討していきます。	特別支援
松林小学校には「まつのご学級」がある。 何らかの特性があり、感覚が過敏な児童もいるので、その分通学に時間がかかることになるといったことも考慮する必要がある。 集団登校は6年生が先頭で、その次に1年生、2年生と続き列を作って引率していくが、低学年への配慮が必要である。保育園に通っていた際は保育士が引率してケアしていたが、その役を5・6年生が担うことは難しい。大人の見守りが必要である。	「まつのご学級」の児童の通学上の安全について、その特性から、通学に時間を有することも考慮しながら、検討していきたいと考えています。 小学校の特別支援学級の児童で通学距離が長い場合は、借上げ自動車の通学支援を行っています。統廃合によって廃止するようなことは考えておりません。	特別支援

受け付けた意見	市の考え方	区分
子供が、「まつのこ学級」に通っている。 学級以外の児童との交流も増えてきているので、統合する際、一緒にの学校に通えるよう検討してほしい。	現在、特別支援学級が設置されていない学校も含め、市全体のバランスを考慮し、個別再配置計画（実行計画編）、個別再配置計画（配置編）を策定していく中で検討していきます。	特別支援
学区外に在住で、「まつのこ学級」に通っている。 タクシー通学の支援は大変ありがたい。 武蔵野小学校に通う場合、自宅からの距離が更に遠くなるため、補助の継続をお願いしたい。	小学校の特別支援学級の児童で通学距離が長い場合は、借上げ自動車の通学支援を行っています。 統廃合によって廃止するようなことは考えておりません。	特別支援
特別支援学級の子供などは、特に環境変化に対してパニックを起こしてしまう特性がある。支援級の活動に慣れてきた時期に学校の環境全てが変わっていく状況になると思う。周囲のサポートが不足する状況になった場合、学校への不安感が強くなってしまう児童も出る可能性があると思う。 また、大人たちだけでは考えつかない、子供ならではの環境に対する意見などを聞く機会や、相談しやすい場もあった方がよいと思う。 大人目線でたいしたことなくても、子供にとってはそれが原因で不登校になることもある。 ・学区外から通う生徒については、統合後どのようなになるのか。	現在、特別支援学級が設置されていない学校も含め、市全体のバランスを考慮し、個別再配置計画（実行計画編）を策定していく中で案をお示しします。検討段階で、案についての説明する機会を設けていきます。	特別支援
・小学校・中学校における支援学級の計画案がいつ頃発表されて、各家庭の方へ個別に周知されるのかを知りたい。	令和8年度中に「個別再配置計画（実行計画編）」を策定する過程で案をお示しします。検討段階で、案について説明する機会を設けます。	特別支援
・生徒数の変化はあるが、教員数はどのように考えているのか、1人当たりの生徒数は。 ・検討中の課題は多い。途中での情報展開をしてほしい。	児童・生徒数によってクラス数が決まる仕組みであり、クラス数が少ないと、学校に配属される教員が少なくなる制度となっています。 現行では、1クラスの人数は35人編制なので、20人でも35人でも1クラスとなります。 例えば、36人であれば、2クラス編制となり、1クラス18人の学級となります。 令和8年度中に「個別再配置計画（実行計画編）」を策定していく過程で案をお示しします。検討段階で、案についての説明する機会を設けていきます。	教員

受け付けた意見	市の考え方	区分
再配置構想(案)では、令和12年4月から統合となっている。その準備期間の数年間、先生方も大変になると思う。統合のことが中心となり、通常の教育がおろそかにならないようお願いしたい。	令和12年4月の統合を目指して検討を進めており、統合まで3年程度の準備期間を設け、交流活動の実施や指導方法の検討など、学校関係者や保護者の皆様と様々な調整を行い、教育の質を高めていくよう進めていきます。	教員
令和8年7月末まで、パブリックコメントを実施しているが、本日ここに出された意見等は、どのタイミングで取り込まれるのか、こういったところで参考にされるのか教えてほしい。 7月末にパブリックコメントの受付を終了して、9月の策定は難しい思う。	パブリックコメントは、市全体の計画(再配置構想(案))に向けてになりますので、7月末までにお受けしたものを検討させていただき、9月に公表する再配置構想に取り込んでいくこととなります。 なお、本日いただいた学校統合についての意見等は、今年度中に策定していく個別再配置計画(実行計画編)の参考とさせていただきます。	公共施設再配置構想(案)
当初今の小学5年生が中学2年になる際に統合されると聞いてましたが、この資料を拝見すると、今の小学5年生が中学3年になるときに統合されるという事ですが、中学3年生となると受験がある為避けてほしい。 受験の時期に統合し、友達関係や環境の大きな変化があるため、子供への影響が大きいと考える。 環境に不安があるのでタイミングはすごく大事だと思う。 タイミングとしては中学1年からが希望したい。 また、中学3年生になるタイミングでしたら、卒業まで羽村第三中学校で過ごした方がよい。	中学3年生は、受験に向けたとても大切な時期であると認識しています。 学校の統合は、新たな人間関係が構築されることで、より充実した学校生活が送れるようになる一方で、慣れない校舎での生活に不安を覚える場合もあるかもしれません。 統合の方法については、子供たちが希望をもって望めるよう、その方法を検討していきます。 具体的には、令和8年度中に「個別再配置構想(実行計画編)」を策定する過程で案をお示しし、説明する機会を設けていきます。	統廃合
・中学校の成績は、先生により出題傾向も異なる、中学1年から積み上げたものを中学3年の成績につなげるよう、中学1年から授業への取組に対して、3年間頑張っていこうという気持ちで臨んでいます。中学校によってスローガンは異なります。先生の雰囲気も学校の雰囲気も違う中で、中学3年で羽村第二中学校に行くのは現段階で親として不安しかない。	中学3年生は、受験に向けたとても大切な時期であると認識しています。 学校の統合は、新たな人間関係が構築されることで、より充実した学校生活が送れるようになる一方で、慣れない校舎での生活に不安を覚える場合もあるかもしれません。 統合の方法については、子供たちが希望をもって望めるよう、その方法を検討してまいります。 具体的には、令和8年度中に「個別再配置構想(実行計画編)」を策定する過程で案をお示しし、説明する機会を設けていきます。	統廃合
リーフレット「これからの羽村の学校」のQ&Aに、「4校はいつ統合されるの?」との質問に対する回答に、「令和12年4月1日の統合」と記載がある。前後するという事はないのか。	基本的には、令和12年4月1日の統合を目指しています。 個別再配置計画(実行計画編)を策定していく中で、様々な意見を伺っていきます。 現時点で、令和12年4月の統合が確定しているものではありませんが、そこを目指していく考えです。	統廃合

受け付けた意見	市の考え方	区分
例えば、現在小学5年生で、令和12年4月に統合すると、中学3年の時に転校となる。高校の受験において学校の成績がとても重要となる。リーフレットにも「統合までの3年間で交流活動の実施や指導方針の検討など」との記載があるが、具体的に決まっているのか。	中学3年生で学校が変わることに関する不安は理解できます。 学習指導要領は全国統一ですので、学校が変わったことにより、成績評価の基準が変わってしまうとか、何か大きな影響を及ぼすことは、基本的にはないと捉えています。 統合をチャンスとして捉えることもできます。「活躍する場が増える」、「多くの目で見守ることができる」、「新たな仲間との交流・出会いがある」など、活動が充実していくものと考えています。	統廃合
聴取した意見の中での、反対意見にどう対応していくのか。 統合時期は前後することも有り得るとの説明であったが、4校の統合は <u>推</u> 進めていくのか。	4校の統合については、児童・生徒数の推計から、進めていく必要があるものと考えており、御理解いただけるよう説明を尽くしていきます。	統廃合
統合の方法、例えば1学年ずつとか、一遍に統合していくとか、どのように進めていくといった案を早めに示してほしい。	令和8年度中に策定する、再配置構想(実行計画編)の中で具体的に案を示していきます。御意見等をいただきながら決定していきたいと考えています。	統廃合
リーフレットの児童数等の推計を見ると、令和12年度の統合を目指していくことは、時期尚早ではないか。 児童数が少ないと専科教員を置けないのか。	児童・生徒数によってクラス数が決まる仕組みであり、クラス数が少ないと、学校に配属される教員が少なくなる制度となっています。 現行では、1クラスの人数は35人編制なので、20人でも35人でも1クラスとなります。 例えば、36人であれば、2クラス編制となり、1クラス18人の学級となります。 クラス数が一つしかない場合、学校行事など、適正な規模での活動が難しくなると考えています。	統廃合
子供が武蔵野小学校に通っており、一校からしか中学校に行かない状況(新たな出会いがない)に不安を感じていたので、再編に賛成です。	学校再編については、児童・生徒数の現状及び今後の減少傾向を踏まえ、児童・生徒のより良い教育環境の整備と、教育の質の更なる向上を目指すことを目的としています。 御意見のように、児童・生徒が新たな人間関係を築いていくために、学校再編は必要であると考えています。	統廃合

受け付けた意見	市の考え方	区分
「少子化に向かっているので統合する」との説明だが、少子化を止める市の取組があるとよいと感じる。絶対数が減っているのは分かるが、「教育に力を入れる」や「〇〇がある」など、羽村市の魅力を打ち出して、羽村市に住みたいと思える何かを是非考えてほしい。 羽村市が廃れていく方向の話に聞こえ寂しく思う。 これ以上統合がされず維持できるように願いたい。	市では、シティプロモーションや「子育てしやすいまち」の発信を継続し、羽村への定住促進に取り組んでいます。同時に、全国的な少子化の影響は避けがたく、人口減少に対応した教育環境の整備が必要であると考えています。 学校再編については、児童・生徒数の現状及び今後の減少傾向を踏まえ、児童・生徒のより良い教育環境の整備と、教育の質の更なる向上を目指すことを目的としています。 公共施設再配置構想で示す4校の統合以降の段階的な再編（全体像）については、令和9年度以降に策定を予定している「公共施設個別再配置計画（配置編）」において示すこととしています。	統廃合
統合は、まだ先にしてほしい。 松林小学校がなくなることのデメリットしかない。 メリットの部分で質の向上とあるが、具体的に分からない。 少人数の方が目が届くので、このままでよい。	児童・生徒の現状と今後の減少傾向を踏まえ、子供たちのより良い教育環境を整備する観点等から、早期に統合し、学校規模の適正化を図る必要があると考えています。	統廃合
段階的に決まっていることを教えていただける機会、情報がほしい。 また、検討、検証のエビデンスを教えてください。	令和8年度中に「個別再配置計画（実行計画編）」を策定していく過程で案をお示しします。検討段階で、案についての説明する機会を設けていきます。	統廃合
・特に中学校統合において、生徒数が増えてしまった場合の対処法は考えられていますか。 増加が見込まれた場合、統合しないことも有り得るのか。	令和8年度中に策定する「個別再配置計画（実行計画編）」及び令和9年度以降に策定を予定している「個別再配置計画（配置編）」を策定していくにあたり、人口推計等が予測を大幅に上回る場合には、適時、計画を見直すことも検討します。	統廃合
現在、小学4年の子供がおり、今後どうなっていくのか本人も保護者も不安なところであった。9月以降、具体的に決まったところでの説明会にまた参加させていただき、不安なことが無いようにお聞きできたらと思います。 途中で転校することとなる生徒に寄り添った形で進めていただけると助かります。 方向性も早めに出していただけるとうれしいです。	令和8年度中に「個別再配置計画（実行計画編）」を策定していく過程で案をお示しします。検討段階で、案についての説明する機会を設けていきます。	統廃合

受け付けた意見	市の考え方	区分
学校再編の目的として、子供たちのより良い教育環境のためとありますが、その目的は、公共施設を羽村市の財政的に削減したいがための、とってつけた目的の理由に感じます。学校再編について、よい効果があるなど、よい事しか説明を受けていないので、市の考えに乗せられている感じがします。 是非、学校再編することでデメリットというのは必ずあると思うので、デメリットをきちんと説明してほしいです。 今のままだと学校再編に反対です。	学校教育施設再編の目的は、公共施設の総量を抑制することではなく、あくまでも「子供たちのより良い教育環境を整備し、学校教育の質をより一層向上させるため」です。 この4校の統合については、児童・生徒数の現状と今後の減少傾向を踏まえ、子供たちのより良い教育環境を整備する観点等から、早期に統合し、学校規模の適正化を図る必要があると考えています。	統廃合
令和12年の4月1日に統合する予定とありますが、統合するにあたり、なぜこんなに年数がかかるのか。 決定であれば、中学3年のタイミングで移動したくないので、今は武蔵野小学校は羽村第三中学校と決まりがありますが、今から羽村第二中学校か羽村第三中学校を選べる選択肢を作してほしい。 中学3年で変わるタイミングだったら、中学1年から羽村第二中学校に行きたい。	学校の統合に関しては、統合まで3年程度の準備期間が必要と考えています。 統合に伴う準備としては、統合する学校間の交流活動の実施、指導方針の検討、通学路、統合先の学校の設備、教職員の調整など、様々あります。 以上のことから、公共施設再配置構想が決定してから準備期間を設けると、学校の統合は早くても令和12年度となります。 また、入学先の中学校を選択できるようにするという案につきましては、今後の検討事項とさせていただきます。	統廃合
個別再配置計画（実行計画編）を策定していくに当たり、PTAの代表などによる、委員会のようなものを設置していくのか。 設置する場合、基準があるのか。市民公募委員の公募があるか。	再配置構想（実行計画編）を策定する上で、どのような場合に委員会を設置するのかといった基準はありませんが、再配置構想（実行計画編）を今年度中に策定するに当たり、学校関係者、保護者の皆さん、コミュニティ・スクールの代表などによる、協議体の設置を考えています。	協議体の設置
委員会の設置について、PTAからの参加は難しいと思うので、保護者の中で参加したい方が公募で入れるのであれば、飲み込まれてしまった保護者の意見が反映されていないといった意見がなくなると思う。	公募といった形が取れるかどうかについてお約束はできませんが、いただいた意見は大事な視点ですので、検討していきます。	協議体の設置
コミュニティ・スクールについて情報提供したい。 多世代にわたる御参加をいただいておりますが、児童にとってどのような支援が有効なのかについて、建設的な御質問や御意見をいただいておりますが、 年配の方が多い。意欲はあるが、何をしたら児童のためになるのか聞かれるが、PTAも運営が難しい状況にある。 コミュニティ・スクールがあるから大丈夫といったことは言えないと思う。	コミュニティ・スクールの取組も発足してまだ数年です。様々な視点があると思いますが、市内全校に設置されています。若い方が構成員に加わっている学校もあるので、今後の活動のより一層の充実を期待したいと考えています。	コミュニティ・スクール

受け付けた意見	市の考え方	区分
統合後の学校がどのように活用されていくのか。 松林小学校、羽村第三中学校の施設がどのように使われていくのか懸念している。何も使われないといったことは避けてほしい。 放課後の遊び場やクラブチームの活動場所として、体育館、グラウンドが利用できるよう維持管理をお願いしたい。 市の魅力、地域の魅力向上につながる積極的な方策に期待する。	統合後の学校施設の利活用については、重要なことであると考えています。 今後、市として計画を立て、説明する機会を設けていくものと捉えています。 いただいた御意見は、市長部局とも情報を共有していきます。	跡地の活用
統廃合では、武蔵野小学校の校舎を使用するとしている。トイレ（和式から洋式）や空調設備の改修などの更新状況はどうか。	施設の改修につきましては、公共施設維持保全計画等に基づき修繕や改修を行っており、統合後も適切に維持管理していきます。	施設改修
歩道等の改修をどのように進めていくのか、予算の計上等も含めて検討を進めてほしい。	歩道等の改修に関する予算措置に関しては、通学路にかかわらず、市民の安全・安心の確保のため、着実に計画して進めていきます。	歩道改修
職員間、生徒間、教員と生徒のトラブルが起きた場合はどう対処するのか。	児童・生徒間においては、統合までの準備期間中に交流事業を実施するなど、児童・生徒間で、相互理解を深めながら進めていきます。 教員間に関しても、事前に共通理解を図る必要があるため、学校再編を実施している他の自治体の事例等を参考にしながら進めていきます。	その他
制服、特別支援学級、通学路などに関する話があったが、現時点で調整はどこまで進んでいるのか。	通学については特に重要な問題であると考えています。 ギガスクール端末等を含め荷物が多くなっていることから、安全・安心の確保、熱中症対策などについて、他市の指針等も参考に、丁寧に検討していきます。	その他
今日説明に来ているのは、教育委員会関係の方であるようだが、市長部局の職員が参加しない理由があるのか。	今回は、学校再編、特に4校の統合に関する必要性について保護者の方々に御理解をいただくために開催する説明会です。 そのため、教育委員会職員が市を代表して出席しています。 これまで、市の全体的な「再配置構想」に関する懇談会は、様々な機会を通じて実施してきています。	その他
保育園など、入学前の保護者に対しても説明する機会を作してほしい。	入学前の保護者に対しても学校統合に関する説明を実施することは必要であると考えており、今回の説明会に向けて、市内幼稚園・保育園等に通う園児の保護者に案内通知とリーフレットを配布するとともに、市公式サイト等を通じて広く周知したところです。 引き続き、入学前の保護者に対しても、適時、情報提供していきます。	その他

受け付けた意見	市の考え方	区分
子供の安全確保と心を守ってほしい。	子どもの安全確保と心身の健康は、統合に当たって最優先事項であると考えています。 通学路の安全確保、スクールカウンセラーの配置、新しい環境への適応支援など、総合的に取り組み、子どもたちが安心して学べる環境を整備していきます。	その他
・中学生で令和12年度に急に統合となるとデリケートな年の子供なので、問題が起こらないよう配慮してほしい。	統合まで3年程度の準備期間を設け、交流活動の実施や指導方法の検討など、学校関係者や保護者の皆様と様々な調整を行い、教育の質をより高めていくよう進めていきます。	その他
子供が毎日安心して通える環境を具体的に検討して行ってほしい。	令和8年度中に「個別再配置計画(実行計画編)」を策定していく過程で案をお示しします。検討段階で、案について説明する機会を設けていきます。	その他
・学校での手紙の配布について、「まなびポケット」の運用が始まっている。こちらを利用して保護者への連絡やアンケートをこまめに実施していただくと、より手軽で、安心できる。	今後の参考とさせていただきます。	その他
・統合は、人間関係のトラブルを防ぎ、多様な個性との関わりの機会が作れる等、ポジティブな考えをもっているが、必ずしも全ての児童が楽しく過ごせるとは限らない。 統合することによって、いじめ、学校に行きたがらないといったことがあった場合のフォローをしっかりとしてもらいたい。誰かが助けてくれるのか。 ・受験にかかわる児童のことを考え、少なからずメンタルが落ちることも全て踏まえ、しっかりとフォローしていただきたい。受験に落ちたらどうするのか。 ・統合したらおしまいでは無く、子供たちの内面をしっかりと見てほしい。その後のフォローをとれる組織体制をしっかりとしてほしい。でなければ強く反対する。	学校の統合は、新たな人間関係が構築されることで、より充実した学校生活が送れるようになる一方で、慣れない校舎での生活に不安を覚える場合もあるかもしれません。 統合の方法については、子供たちが希望をもって望めるよう、その方法を検討していきます。 具体的には、令和8年度中に「個別再配置構想(実行計画編)」を策定する過程で案をお示しし、説明する機会を設けていきます。	その他
保護者だけでなく、学校に関わる人たちにも参加してもらった方がよいと思う。	学校再編に関しては、個別再配置計画(実行計画編)の策定に向け、具体的な統合の内容を検討していきます。 その段階においては、学校関係者等を含めた協議体を設置して検討していきます。	その他

受け付けた意見	市の考え方	区分
・子供にも同じように説明・アンケートを実施してほしい。武蔵野小学校、松林小学校、羽村第二中学校、羽村第三中学校の全児童・全生徒に対してアンケート実施し、回答結果を公表してほしい。 ・質問の回答結果が出た場合は、小学校に連絡して、学校から手紙やメール配信し、親が見やすい状況を作してほしい。 子供中心に、羽村に育ってよかったと思える未来を期待する。	児童・生徒の声を大切にしたいというご趣旨はよく理解いたします。現段階では、保護者の皆様からの御意見集約を優先しております。 また、昨年7月には、児童・生徒へアンケートを実施しており、新たなアンケートを実施する考えはありませんが、令和8年度中に「個別再配置構想（実行計画編）」を策定する過程で、検討していきます。	その他